

さいたま市長メッセージ（令和3年2月25日）

皆さん、こんにちは。さいたま市長の清水勇人です。

1月7日の緊急事態宣言発出から、1か月半が経過しました。市民や事業者の皆様には長期に渡りご協力いただき、ありがとうございます。

特に、これまで営業時間短縮にご協力いただいている飲食店の皆様には、大変なご苦勞をお掛けしており、深く感謝申し上げます。

さて、本市では、2月23日までの1週間で1,816件の検査を実施し、115名の新規陽性者が確認されました。ステージ3の指標を下回っていますが、先週とほぼ同数となっています。

また、市内の全療養者数は23日時点で327名となり、先週より減少していますが、ステージ4の指標と同水準です。埼玉県全体の病床使用率も、54.9%で、ステージ4の指標50%を超えており、まだ安心できる状況ではありません。

本市では、新たな感染拡大防止策として、高齢者や障害者の入所施設、病院等について、従業者と新規入所者等の希望者全員を対象にPCR検査を実施します。検査の対象は、合わせて約670施設で、従業者約37,900人、新規入所者等約4,600人を見込んでいます。これにより、高齢者や障害者の入所施設、及び病院等の感染対策の更なる充実を図ってまいります。

緊急事態宣言の延長期限まで10日となりましたが、新規陽性者数はほとんど減らずに停滞しています。これまでの皆様の努力を無駄にしないためにも、

いまいちど、ご自身の行動を見直していただき、不要不急の外出をはじめ、
基本的な感染予防策を徹底していただくようお願いいたします。